



## W3C 組織概要

<http://www.w3.org/Consortium>

W3Cは、Web技術の標準化と推進を目的として、Webの発明者であるTim Berners-Leeによって1994年10月に設立された会員制の国際的な産学官共同コンソーシアムです。2004年10月で設立10周年を迎えました。アメリカ合衆国マサチューセッツ工科大学計算機科学人工知能研究所(MIT CSAIL)、フランスに本部を置く欧州情報処理数学研究コンソーシアム(ERCIM)、および日本の慶應義塾大学の三者がホスト組織として共同運営を行っています。技術仕様の勧告(Recommendation)としての策定のほか、Webに関する情報の提供、技術開発の促進、新技術のプロトタイプ実装などに取り組んでおり、現在までに90本を超える勧告が策定、公開されています。

## 国際標準化

<http://www.w3.org/Consortium/activities>

W3Cでは、ワーキンググループ(WG)が具体的な技術仕様やガイドラインの標準化を行います。WGは、主にW3C会員組織から参加する技術者とW3Cの技術スタッフから構成されます。WGが作成した技術仕様やガイドラインは、会員組織と一般からのレビューに基づいて改善され、W3Cの技術総括責任者であるTim Berners-Leeの決定により、W3C勧告となります。それぞれのWGは次の4つのドメインのいずれかに所属し、様々なトピックを取り扱っています。

### ● Architecture

Webを支える基盤技術の改善と自動処理の推進

XML / XML Schema / XML Processing Model / XSL / XSLT / XPath / XML Query / XML Base / XLink / XPointer / XML Binary Characterization / DOM / SOAP / WSDL / WS-Choreography / WS-Addressing / Semantic Web Services / URI / IRI / 国際化

### ● Interaction

Web上の情報に対する新しいアクセス手法の探究

HTML / XHTML / XForms / CSS / WebCGM / PNG / SVG / SMIL / Timed Text / MathML / VoiceXML / SRGS / SSML / Multimodal Interaction / InkML / Rich Web Client / CDF / Mobile Web Initiative (MWI) / Device Description / Device Independence (CC/PP)

### ● Technology and Society

Web上の政策的課題に取り組む支援技術の提供

Patent Policy / Semantic Web / RDF / Web Ontology (OWL) / SPARQL / Rule Interchange Format (RIF) / Privacy (P3P) / PICS / XML Signature / XML Encryption / XML Key Management

### ● Web Accessibility Initiative (WAI)

障害を持つ人を含むすべての人が使いやすいWebの実現

W3C技術の検証(Protocols and Formats) / ガイドライン策定(WCAG / UAAG / ATAG) / 評価・修正ツールの評価と開発(Evaluation and Repair Tools) / 普及・啓蒙活動

## W3Cへのご参加

<http://www.w3.org/Consortium/join>

W3C会員としてご参加頂くと、次のようなメリットがあります。

- 技術仕様の策定や新たな技術提案が行えるワーキンググループやワークショップなどへの参加
- 会員専用のWebページやメーリングリストを通じた、仕様案などの最新情報の入手
- 研究員の派遣を含む人的、技術的な交流(W3C Fellowプログラム)
- W3Cの活動に対する戦略的な方向付け
- W3Cを通じた広報活動だけでなく、W3C会員同士の連携を活用した、様々なビジネス上のメリット

現在400近い会員組織が世界各国から参加しています。この中にはコンピュータ産業やインターネット産業、情報産業をリードする主要な企業が多数含まれるだけでなく、世界有数の研究機関や大学、先進各国の政府関係機関、NPOやユーザ団体など、多様な組織で構成されています。日本からはこのうち約1割近くに相当する30を超える組織が参加しています。日本の最先端技術を国際標準化するためにも、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

## W3C 慶應

<http://www.w3.org/Consortium/contact>

W3C 慶應は東アジア地区担当のW3Cホストとして、1996年9月に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)併設のSFC研究所に設置されました。現在12名がスタッフとして活動しており、技術面では特に、Semantic Webの基盤となるRDFやその問合せ言語であるSPARQL、Webページの記述に用いられるXHTML/HTMLやXForms、XMLに基づく複数のマークアップ言語を組み合わせて利用するCDF、携帯機器からの簡便なWebアクセスを実現するMWI、電話などを通じた音声に基づくWebアクセスを実現するVoice Browser、Webの国際化などに取り組んでいます。またW3C会員および一般向けに、日本語による情報提供やWeb関連技術の普及・広報活動も行っています。

入会希望・報道取材・ご質問などがございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

慶應義塾大学SFC研究所W3C

住所：〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤5322

TEL：(0466) 49-1170 FAX：(0466) 49-1171

E-mail：keio-contact@w3.org URI：http://www.w3.org/

